

# ～小牧市からコロナ差別・偏見をなくすために～ コロナ差別ゼロ共同宣言

私たち小牧市民は、お互いを尊重し、助け合う市民です。  
新型コロナウイルスは見えない敵であり、どれだけ予防していても感染してしまう可能性は誰にでもあります。

明日は「我が身」かもしれません。

今、戦うべきは“ウイルス”であり“ヒト”ではありません。  
私たちは新型コロナウイルスに感染した人や感染の疑いのある人  
発生した場所に対し

決して差別をしたり、偏見を持ったりせず  
誹謗中傷が起きないように努め  
ここに“コロナ差別ゼロ”を宣言します。

私たちは小牧市から新型コロナウイルス感染症の終息を願い、  
新しい生活様式を取り入れ、感染予防対策を徹底し  
感染を拡大させないことを約束します。



小牧市



(一社) 小牧青年会議所

令和2年第4回定例会で「小牧市新型コロナウイルス感染症関係者の人権擁護に関する条例」が可決され、12月21日の公布をもって施行となりました。

この条例の意義や目的を広く周知することで、住みよい街づくりにつなげるために、12月22日に市と小牧青年会議所は「コロナ差別ゼロ共同宣言」を行いました。

この宣言は、新型コロナウイルス感染症関係者がいわれのない差別や誹謗中傷で苦しむことがないように、市民が一丸となってこの難局を乗り越えるための決意を示すものです。

